

インタビュー 「おやじ達の挑戦」



島門小おやじの会
矢野 智雄さん

今古賀区在住。平成28年に島門小おやじの会に入会し、平成29年から同会の会長に就任。2人の小学生のパパ。



おやじの会

子育てや教育に参画する父親を中心とするグループ。おやじ達のつながりや、持っている様々な技術力を、青少年の健全な育成のために活用することを目的として平成24年に設立。

現在、会員数は21名、女性会員(3名)も入会中で会員の平均年齢は45・2歳。

入会のきっかけは？

長女と同じ保育園に通うお子さんのお父さんの一人が、以前から気になっていたおやじの会の会員で、その方に誘われたからです。

どんな活動をしていますか？

子ども達の見守り活動を中心に、小学校のあいさつ運動への参加や、学校行事のお手伝い、学校遊具などの簡単な

修理、青パトによる防犯パトロールなどの活動をしています。

子ども達のためと云いつつ、自分達が楽しむことを一番に考え、あまり背伸びをせず「身の丈に合った活動」を心がけています。

また、会員はみな何かしらの仕事をしており、活動に参加できないこともあります。だからと言って引け目に感じることなくのびのびと活動できるように心がけています。

よかったこと、苦労したことは？

会の活動を通して、たくさんの子どもの笑顔を見ることができ、さまざまな人と出会い、貴重な経験ができました。楽しみながら活動しているので、特に苦労を感じたことはありません。まあ、強いと言うのであれば、会のメンバーがみんなワガママなので、その調整に苦労することでしょうか。(笑)

今後の展開は？

これからも、楽しむことを目的として活動していきます。どんな活動をするにしても、楽しんでやらないと長続きはしませんし、自分達が楽しんで活動していれば、それを見た他のおやじ達も興味を持ってくれる、活動に共感してくれる、一緒に活動してくれると思っています。最後に、おやじの会はいつでも入会者を募集しています。



子ども達の笑顔のために、学校遊具修理中



「おやじ達」の見守りで登校も安心